



進路だより

R2.11.11
第1学年 7号
安古市高校進路指導部

＜進路志望を掘り下げよう —文理選択を終えて—＞

11月5日（木）に文理選択の最終調査が終わり1学年全員の文理選択が決定しました。文理選択を考えるうえで、しっかり進路志望も考えてくれたことでしょう。

今後は自分自身の志望をさらに深く掘り下げていく必要があります。「とりあえず」の志望ではなく、「本当にこの大学に（この学部）に進みたい」という志望こそが学習のモチベーションになるからです。志望は「育てる」ものです。「なぜ大学に行くのか」「本当にめざす大学が最適な進路か」を真剣に考え、1年生の後半戦で進路意識をしっかりと育てていきましょう。

＜学習時間調査 —1日3hの時間をつくる—＞

進路だより5号では、6月と9月を比較して「学習時間が減少している状況」「1日平均3時間以上の学習を確保できた生徒が減少している状況」をお知らせしました。その後、学習習慣を見直して「すき間時間」の利用などの工夫を意識してくれたことでしょう。進研模試直前となった10月学習時間調査では早いうちから家庭学習を定着させていこうと意識した人もいたのではないかと思います。

ここで「ある東大生（受験時代）の平日6h勉強ルーティン」を紹介したいと思います。

- 6:30 起床
- 6:30~7:00 支度
- 7:00~7:30 通学
- 7:30~8:30 朝の自習（小テスト対策や軽い宿題）
- 8:30~17:00 授業
- 17:00~18:00 夕方の自習（英数以外の問題演習）
- 18:00~18:30 帰宅
- 18:30~20:00 ご飯・お風呂・テレビ（20:00テレビ強制オフ）
- 20:00~24:00 自宅学習（前半・数学 後半・英語、国語）
- 24:00 就寝

どうでしょうか。彼はこうして1日6hの学習時間をキープしていたようです。私たちが目指しているのは彼の半分の3hです。できそうな気がしませんか？今、自分が一日をどう過ごしているか、もう一度見直してみましょう。

＜進研模試を振り返ろう＞

10月31日実施の進研模試の結果がもう少しで返却されますが、復習は十分に行うことができますか。「自分ができなかったところをできるようにしていく」のが模試の重要な役割です。デジタルサービスを利用しながら模試活用の一連の流れをもう一度確認しておきましょう。

- 目標設定
興味のある職業や学問などから進路研究を行ったうえで志望校登録ができ、その大学の合格目標点が表示されることで具体的な目標が立てられる。
- 自己採点・復習
受験直後に自己採点に取り組むことで、苦手な分野などを把握することができ、Web解説などにより理解が深まる。
- 答案で復習
成績結果と自己採点を比較し、答案のどの部分に点を与えられているか確認でき、次の対策がたてられる。
- 次回の目標設定
志望校との距離を確認し、今後の意気込み学習時間の登録・確認をする。

現在は自己採点・復習が終わったところですが、答案が返却されたら、まずは間違っていたところをしっかりと確認しましょう。解答解説を読み、何ができていなかったのか、自分の力不足の分野はどこかを洗い出し、時間をおいてもう一度解いてみましょう。間違っていた問題は、自分自身で解決できる問題ですか？友達に聞けば解決できる問題ですか？先生に聞けば解決できる問題ですか？分類してみてください。そして、そのままにせず友達や先生に聞きその都度解決しましょう。

＜期末考査に向けて＞

期末考査まで2週間です。まだまだ先のこと、と思っていまいませんか。2学期は1学期に比べて試験範囲が広がります。授業で習ったことをしっかり見直しましょう。その時間で新たに学習する内容はその時間中に自分のものにするぞ！の気持ちで高い集中力で授業を受けることが大切です。

計画的に学習を進めていますか？もう遅い…とあきらめず、テスト範囲を勉強しきることに！さあ今日帰宅したら早速始めましょう。

